



地域ひと・モノ・未来情報研究センター

第9回



成果発表シンポジウム

地域ひと・モノ・未来情報研究センターでは、多様な情報を情報通信技術（ICT）で解析・連携・共有化し、その成果を「滋賀モデル」として提案・発信することを目的としています。またICT応用を地域社会で実践できる人材の育成にも力を入れています。

滋賀県の歴史・文化・伝統を基盤とした地域の環境・健康福祉・産業振興などのターゲットに対応し、農業・看護・観光・工業等に関する研究を日々進めています。と同時に、数理モデル・情報解析能力を備える学生の育成、地域ならびに地域産業の課題解決へ向けた社会人の養成・学び直し等を進めています。

この度、令和7年度の成果発表として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

日時 2026年2月16日(月) 13:30～17:00

会場 滋賀県立大学産学連携センター2階 産学研究交流室

開催形式 対面及びZoomによるライブ配信

参加費 無料



プログラム概要(敬称略)

- 13:30 開会の辞とセンターの現状報告
地域ひと・モノ・未来情報研究センター長 兼 工学部電子システム工学科教授 酒井 道
- 13:50 【特別講演】海面生簀養殖の現状とこれから
東京大学生産技術研究所大規模実験高度解析推進基盤教授 北澤 大輔
- 14:40 <休憩>
- 14:50 【講演1】超多関節ロボットハンドの開発(仮題)
地域ひと・モノ・未来情報研究センター 兼 工学部機械システム工学科准教授 山野 光裕
- 15:10 【講演2】完全閉鎖循環式養殖におけるバナメイエビ画像モニタリング技術の開発
地域ひと・モノ・未来情報研究センター 兼 工学部電子システム工学科講師 榎本 洸一郎
- 15:30 【講演3】独自技術P-100で挑戦するプラスチックのサステナビリティ
ICT実践学座“e-PICT”社会人コース受講生, 株式会社プラーツ代表取締役 中嶋 元
- 15:50 <休憩>
- 16:10 【パネルディスカッション】テーマ:スマート水産業の現状と今後への期待
モデレータ:酒井 道
パネラー:北澤 大輔、山野 光裕、榎本 洸一郎、中嶋 元、宮城 茂幸(副センター長)
- 16:50 閉会の辞
研究・評価担当理事/副学長 松岡 純

お申込み方法

下記URLまたはQRコード
<https://forms.office.com/r/L2MPndgDQF>
にて、氏名、所属、メールアドレス、電話番号等をご記載の上、
事前にお申し込みください。

申込期限：2026年2月9日（月）



▲お申込みフォームQRコード

開催会場のご案内

交通アクセス

- ▼JR南彦根駅まで
 - JR京都駅から普通で60分
 - JR名古屋駅から快速で80分
- ▼JR彦根駅まで
 - JR京都駅から新快速で50分
 - 新幹線で30分
 - JR名古屋駅から新幹線で35分
 - (※新幹線は米原駅で乗継ぎ)
- ▼JR南彦根駅から
 - バスで15分（南彦根駅西口：南彦根県立大学線）／タクシーで10分
- ▼JR彦根駅から
 - バスで25分（彦根駅：彦根県立大学線）／タクシーで15分
- ▼名神彦根ICから
 - 車で20分（6.5km）



【学内案内図】



お問い合わせ先

滋賀県立大学 地域ひと・モノ・未来情報研究センター
〒522-8533
滋賀県彦根市八坂町2500産学連携センター（C8棟）2階C8-204
☎0749-28-8421（事務局）
E-mail : ict@e.usp.ac.jp URL : <https://www.ict.usp.ac.jp>

▼センターHPのQRコード

